



令和4年度 卒業論文発表会

「まず、やってみる」姿勢と、「考える」過程を大切に！

校長 河田 強

本校の「プロジェクト学習」は、学生が自主的・主体的な学習意欲を持って取り組むこととしています。そして、卒論はプロジェクト学習の集大成です。

テーマは「現状の改善策の実証」や「将来目標の実現に向けた仮説の実証」等、自ら疑問に感じ、問題意識を持ち、理想を目標として設定しています。今回の卒論発表では卒業後の将来に繋がるテーマも多くありました。

卒論で習得したプロジェクト（課題解決）の手法は、経営改善や経営発展など仕事を進める上で使う基本的な技術です。いろいろな場面で大いに活用して、目標達成につなげて欲しいと思います。

時には失敗しても、そこから学べばそれは失敗ではなく、次への教訓になります。「まずやってみる」が、課題解決の基本姿勢です。一生懸命やって「考える過程を大切に！」してください。そこから得られるものが必ずあるはずですよ。



卒業論文発表会開催!!

1月11日、卒業論文発表会を開催しました。本校では、学生が自ら設定した課題の解決を図る「プロジェクト学習」を教育の柱にすえています。そのプロジェクト学習の成果を、養成課程の2年生25名がそれぞれ卒業論文としてまとめ、発表をおこないました。校内審査の結果、金賞に中島貴紗蘭さん、銀賞に馬田雄大さん、銅賞に赤井虹太さん、小南つららさんがそれぞれ選ばれました。



野菜コース | 中島 貴紗蘭 中玉トマト生産における 余裕のある農業経営を目指して



金賞をいただき中四国大会、そして全国大会へ出場することができ、とても嬉しく思います。このような結果が出せたのは、先生方をはじめ協力してくださった皆さんのおかげです。ありがとうございます。感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきます。



作物コース | 馬田 雄大 ドローンを活用して 持続可能な農業を目指す



今回このような賞を頂き、大変嬉しく思います。年末に体調を崩し、発表会にも出られるのか不安でしたが、多くの先生方のご支援のもと、なんとか発表を終え、そしてこのような結果を残すことができました。本当にありがとうございました。



果樹コース | 赤井 虹太 ニホンナシ「新甘泉」の ジョイント栽培における多収技術の検討



先生方と果樹コースの仲間との協力があったおかげでプロジェクトをまとめることができました。2年間学習してきたことや今回の結果を活かし、南部町での親元就農後も頑張っていきます。



畜産コース | 小南 つらら 第12回全国和牛能力共進会への挑戦



この表彰は、私個人の力ではなく、これまで指導して下さった農家の方々、一緒に頑張ってきた仲間、先生等や牛のお陰です。これからも牛とともに頑張っていきます。ありがとうございました。



校内審査で金賞に選ばれた中島貴紗蘭さん、銀賞の馬田雄大さんは、本校の代表として、1月18日に香川県で開催された中国四国ブロック農業大学校等プロジェクト発表会で発表をおこないました。今年度は3年ぶりの対面開催でしたが、その結果、二人とも見事に上位3名の「優秀賞」に選ばれました。さらに、2月7日に東京で開催された全国プロジェクト発表会へ参加し、2人とも「優良賞」を受賞しました。

意見発表会開催!

11月9日、校内意見発表会を開催し、1年生16名が発表しました。農業に対する想いや将来の夢、就農に向けての決意など、学生たちが日頃考えたり感じたりしていることを交えて、それぞれの意見を述べました。

野菜コースの下田羽桜さんは、学校代表として、1月18日に香川県で開催された中国ブロック農業大学校等意見発表会でも堂々と発表を行いました。

校内意見発表会の受賞者

最優秀賞

野菜コース 下田羽桜さん「環境問題と農業」

優秀賞

果樹コース 田中 伶さん「夢に向かって」

優秀賞

果樹コース 森口 楽さん「未来を見据えた農業」



最優秀賞 下田羽桜さん

完全復活!!

修農祭

今年度の修農祭は、3年ぶりに地域の方をお招きして開催しました。新型コロナウイルス感染対策として校内での飲食禁止、健康確認や連絡先の記入等、来場者のみなさんにもご協力いただきました。何しろ3年ぶりの一般公開ですので、どのくらいの来場者があるか予想もつきませんでした。あいにくの雨模様の中、朝早くからお客様が並ぶ光景に安堵しました。

企画から運営まで学生が行い、学生会では恒例のつきたてのもち、各コースの屋台ではフランクフルト、焼き鳥、焼きそば、パンケーキを販売しました。また、農大で栽培した梨や柿、白ネギや白菜、ナスなどの野菜、ストックやパンジーなどの花を販売し、学生たちにとっては自分たちが作った農産物をお客さんに対面で直接販売できる貴重な機会となりました。



本校在校生初の快挙!!



果樹コース1年 田中 伶さんが、令和4年12月におこなわれた日本農業技術検定1級の学科試験に合格しました(選択科目:果樹)。1級の合格率は例年5~10%程度とたいへん低く、本校から合格者が出るのは初めてです。合格の一報に「まさか1発で合格できるとは思っていなかった。先生方と一緒に勉強をしたり、夜遅くまで頑張ったりした甲斐があった」と笑顔で話してくれました。本当におめでとうございます!

※日本農業技術検定1級になるには、学科試験と実技試験の両方に合格する必要があります。本校は実技試験の免除要件である「農場実習等を4単位取得すること」に該当するため、申請を行うことで実技試験が免除されます。田中さんが1年生のカリキュラムを全て修了した後に、正式に日本農業技術検定1級の合格者となる予定です。

モンゴル研修生来校

3年ぶりに交流再開

本年度は、中央県ポルノール町役場から「ドルジ・アルタンオンツ」さんが研修生として農業大学校に来られました。研修期間は11/15~12/8。主に野菜科でのビニールハウスで野菜栽培を中心に研修を行いました。

ハウス栽培では、イチゴについて、鳥取県育成品種「とっておき」の特徴や、実際の管理作業として芽かき、摘果、親株の採苗作業の他、天敵放飼を行いました。また、園芸試験場への視察では野菜研究室から「とっておき」の品種特性及び育成中の新品種についても紹介され、熱心に傾聴されていました。現在、中央県では、イチゴ栽培が注目されており、その栽培方法は、非常に参考となる情報だと喜んでおられました。その他にもシュンギク、ブロッコリー、キュウリ、トマト等の栽培管理作業や収穫・調製出荷作業などを行いました。また、直売所にも出向き、その運営方法や農家と消費者交流の重要性等について学びました。その他、花きコースでストック開花調節や果樹コースで梨の剪定法、ジョイント栽培の実際について職員より圃場での説明を受け学びました。

1ヶ月という非常に短い研修期間でしたが、モンゴルでの活躍を期待したいと思います。

